

エネルギー情勢懇談会 第1回にあたって

東京都市大学
イース・幸せ経済社会研究所

枝廣淳子

1

長期的視点でエネルギーと環境を考える

2008年

地球環境問題に関する懇談会（首相官邸）

2011年～

- みんなのエネルギー環境会議（MEEC）
- 総合資源エネルギー調査会「基本問題委員会」（33回）
- 2012年8月「エネルギー・環境の選択肢に関する討論型世論調査」
- 「明日の柏崎づくり」事業（3年間）

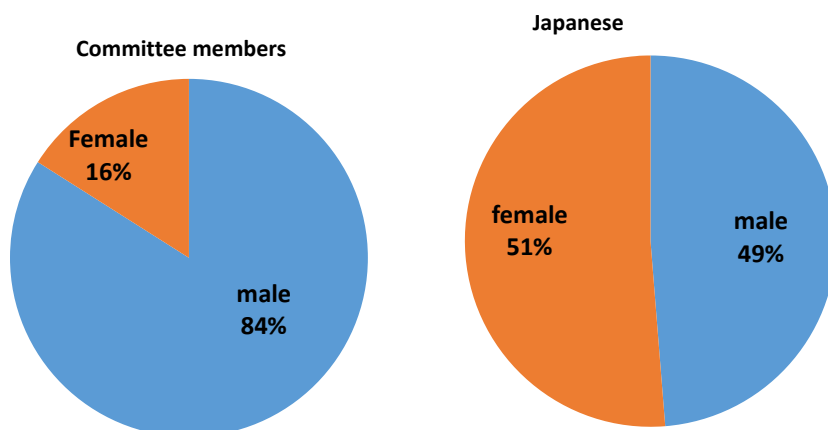
2

今回の参加にあたっての エダヒロの「3つの視点」

- 「環境」の視点
- 「地域」の視点
- 「市民」の視点

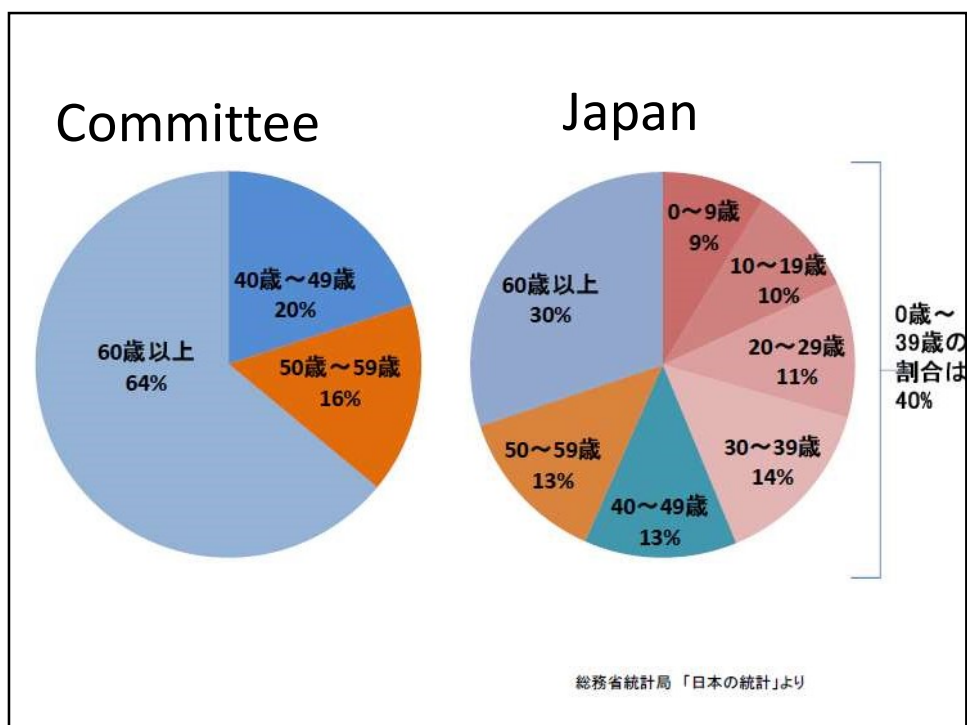
3


エネ庁総合資源エネルギー調査会 「基本問題委員会」(2011～2012) 18人の委員





<p>「女性の視点からエネルギーを考える～エネ女の集い」開催報告</p>	
<p>2012年2月9日 枝廣淳子</p>	
<p>1. 目的・経緯 ○現在、政府は「2030年までの日本のエネルギー」をどうするかという、エネルギー基本計画の策定に向けて、資源エネルギー庁の基本問題委員会で議論を進めているが、委員会の25人の委員の中に女性委員はわずか4人と、世代的にも偏っているため、女性や若者の声をあまり聞くことのできない構成になっている。 ○今後の日本のエネルギーをどうするかは、あらゆる人に影響を及ぼすことであり、性別や世代などを含め、広く国民的議論をおこなって政策に反映すべきとの観点から、まずは、女性たちがエネルギーをどのように考えているのか、どのような基準でエネルギーを選びたいと思っているのか、エネルギーについて考えるためにどのようなデータや事実を知りたいと思っているのか、をざっくばらんに語り合う会を開催することとした。</p>	
<p>2. 概要 ○日時：2012年1月31日（火）18:30～21:30 ○場所：ハロー貸会議室 新宿ロイヤルビル3階 ○主催：有限会社イーズ「幸せ経済社会研究所」 ○協力：NGO ジャパン・フォー・サステナビリティ（JFS） みんなのエネルギー・環境会議（MEEC） 公益社団法人 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会 一般社団法人 環境ビジネスウィメン NPO 法人 持続可能な社会をつくる元気ネット ○ファシリテーター：枝廣淳子 ○基本問題委員会（女性委員）：阿南久氏、崎田裕子氏、辰巳菊子氏 ○リソース・パーソン：定光裕樹氏 資源エネルギー庁・総合政策課 戦略企画室長 村上敬亮氏 資源エネルギー庁・新エネルギー対策課 課長 森下香洋子氏 産業技術環境局・地球環境対策室 茂木正氏 資源エネルギー庁・省エネルギー対策課 課長 松山大貴氏 資源エネルギー庁・総合政策課 室長補佐 田附千絵子氏 資源エネルギー庁・総合政策課 村松雅子氏 資源エネルギー庁・総合政策課</p>	
<p>http://www.enecho.meti.go.jp/committee/council/basic_problem_committee/011/pdf/11-6.pdf</p>	
<p>6</p>	



	<p style="text-align: center;">eneyan エネルギーを考える若者の集い</p> <p style="text-align: center;">『eneyan エネルギーを考える若者の集い』開催報告</p> <p style="text-align: right;">2012年5月14日 eneyan 実行委員会</p> <p>1. 目的・経緯</p> <p>○ 3.11 以後原発稼働に対する国民の支持が低下しており、自然エネルギーの役割、その普及策について考えることは必要不可欠である。今夏のエネルギー基本計画見直しにむけて6月頃に政府からエネルギー政策の選択肢が提示される予定であり、将来を担う若者が積極的にこの問題についての議論に参加していくことが求められる。しかし、エネルギー基本計画の見直しについて検討している資源エネルギー庁総合資源エネルギー調査会基本問題委員会の委員25人のうち、60歳以上の委員は6割以上を占め、39歳以下の委員は1人もいず、世代的に偏りがある。この状況を受け、若者の視点をエネルギー政策に取り入れるため、2012年3月17日資源エネルギー庁の基本問題委員会の一人である枝廣淳子さんによって「若者の視点からエネルギーを考える～エネ若の集い」が東京で開催された。関西でも若者の意見や想いがエネルギー政策に取り入れられるための場を設けることが重要である。</p> <p>○ エネルギー問題について学び、政策の選択肢について議論し、意見表明をする場を設けることで、若者の視点がエネルギー政策に取り入れられることをめざして開催した。</p> <p>2. 概要</p> <p>○ 日時：2012年5月12日(土) 13:30～17:00</p> <p>○ 会場：京エコロジーセンター</p> <p>○ 主催：京エコロジーセンター</p> <p>○ 協力：自然エネルギー学校・京都</p> <p>○ 司会：門川裕美(立命館大学国際関係学部、20歳)</p> <p style="padding-left: 20px;">武田麻里(京都大学理工学部、21歳)</p> <p>○ ファシリテーター：廣岡陸(Climatic Youth Japan(CYJ) 副代表、26歳)</p> <p>○ オブザーバー：村上敬亮氏 資源エネルギー庁・新エネルギー対策課 課長</p> <p style="padding-left: 20px;">吉田岳朗氏 資源エネルギー庁・新エネルギー対策課 係員</p> <p style="padding-left: 20px;">金龍史氏 資源エネルギー庁・新エネルギー対策課 係長</p> <p style="padding-left: 20px;">再生可能エネルギー推進室 係長</p> <p>○ 参加人数：29名</p> <p style="padding-left: 20px;">大学生・大学院生 24名</p> <p style="padding-left: 20px;">20～30代の社会人 4名</p> <p style="padding-left: 20px;">不明 1名</p> <p style="text-align: right;"> http://www.enecho.meti.go.jp/committee/council/basic_problem_committee/022/pdf/22-8.pdf </p> 	9
--	---	---

今回

ウェブサイトを通じて

- ・ 情報発信
- ・ 考え、議論する場

リアルな場も

エネルギーを考える視点・軸

- 3E+S
 - ◆ 安定供給
 - ◆ 経済効率性
 - ◆ 環境適合
 - ◆ 安全性

※これまで「どれがいちばん大事か」という議論に終始していたのではないか

※議論を進めるために

- 時間軸：短期も中長期も
- バランスをはかる軸：レジリエンス

11

未来の考え方

「ありたい未来」

「あるべき未来」

「ありうる未来」

手法の例：

シナリオプランニング

シミュレーション

（経産省・環境省由来ではないモデルも活用）

12